

交通安全のポイント

令和6年3月7日
福島県警察本部

1 人身交通事故発生状況（3月6日現在の概数） ※（ ）は前年同期比

発生件数	死者数	高齢者	けが人数
488件 (-28件)	11人 (+1人)	8人 (+5人)	560人 (-39人)

2 県内で飲酒運転の逮捕が続発！

令和6年3月7日現在、県内では、

3月2日 郡山市内 20歳代

3月3日 須賀川市内 50歳代

3月6日 双葉郡楡葉町内 40歳代

3月7日 会津若松市内 20歳代

と4人が飲酒運転で逮捕されています。

人流及び送別会等が増加する年度末に向けて、重大交通事故及び飲酒運転に起因する交通事故の増加が危惧されます。

運転は、**時間と心に余裕を持って**、また、**飲酒運転は自身の身の破滅だけではなく、家族や会社、友人の人生にも影響**を及ぼします！飲酒後は正常な判断が出来なくなりますので、飲まないことを明確にする「ハンドルキーパー」の推進や、そもそも、飲酒会合に車で行かないなど、飲酒運転をしない・させない・出来ない状況を作り、**福島県から飲酒運転を一掃**しましょう！



ハンドル
キーパー

3 交通安全のアドバイス

★ドライバーの皆さんへ★

運転に不安はありませんか？

誰しも年を重ねると身体機能や判断力が低下します。

ご自身の身体能力や判断力に合わせた安全運転をお願いします。

交通事故は、決して他人ごとではありません。運転に自信がなくなった方や不安がある方は、ぜひ警察署や運転免許センター、**#8080（シャープハレバレ）**に相談してください。警察官や専門の職員と一緒に、安全運転について考えてみましょう！



安全運転サポート車を活用しよう！

交通事故は誰もが起こしてしまう可能性がありますが、もしもの際に**交通事故を回避したり被害を軽減してくれるのが安全運転サポート車**です。より安全な車を選択するのも交通事故防止につながります。ただし、安全運転サポート車の運転支援機能も万全ではありませんので、機能を過信せず、安全運転を心がけましょう。



令和5年度反射材着用率調査結果



歩行者の反射材着用率を調査した結果、全体の着用率は44.0%でした。

65歳以上の高齢者の着用率は、全体の47.5%と約2人に1人が反射材

を着用しているという結果となりました。

夜間は特に、黒っぽい服装はドライバーから見えにくく、ドライバーが気づかないまま歩行者とぶつかったり、直前で発見して急ブレーキをかけても間に合わないなど、死亡事故や大怪我をする確率が高くなります。

反射材を着用することで、ドライバーに早く発見してもらうことができ、**事故防止に繋がります！**

外出する時は、夜光反射材を着用し、自分の命を守りましょう！！

※詳細については、県警ホームページ、県警アプリに掲載する予定です。

